

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	沖ノ原谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県												
実施箇所	山口市徳地伊賀地																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、溪流保全工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	1.3																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖ノ原谷川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	人家: 14戸 重要公共施設: 1施設 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	7.6	C:総費用(億円)	4.0	B/C 1.9 B-C 3.6 EIRR (%) 7.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 1.9</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.0	残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 1.9
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.0															
残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9															
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 1.9															
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家14戸、重要公共施設1施設等)を守る。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

沖ノ原谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大久保溪流事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県				
実施箇所	山口市徳地山畑									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	1.2									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保溪流においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家:6戸 重要公共施設:1施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	3.0	C:総費用(億円)	1.9	B/C	1.6	B-C	1.1	EIRR (%)	6.2
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.5	~	1.7						
	残工期(+10%~-10%)	1.6	~	1.6						
	資産(-10%~+10%)	1.6	~	1.5						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家6戸、重要公共施設1施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

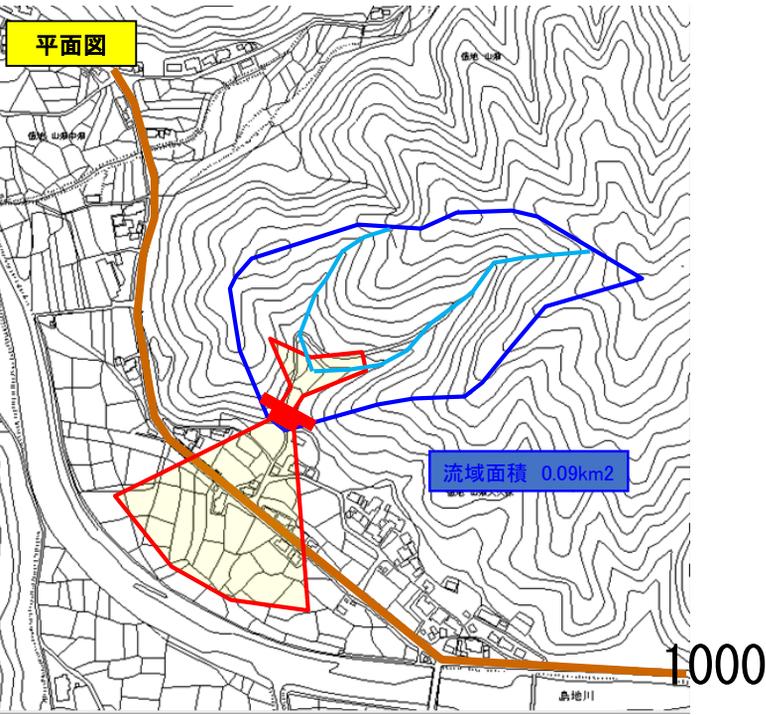
大久保溪流事業間連携砂防等事業 位置図

大久保溪流

位置図



平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	峪東谷川 事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																	
実施箇所	防府市上右田																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	2.2																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・峪東谷川においては、平成21年7月中国・九州北部豪雨で土砂が一部流出するなど、溪流の浸食が著しく進行していることから、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	人家:5戸 重要公共施設:1施設 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	4.5	C:総費用(億円)	2.5	B/C	1.8	B-C	2.0	EIRR (%)	7.3													
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 1.9	残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8	資産(-10%~+10%)	1.8	~ 1.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 1.9																					
残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8																					
資産(-10%~+10%)	1.8	~ 1.8																					
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家5戸、重要公共施設1施設等)を守る。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

<新規事業採択時評価>

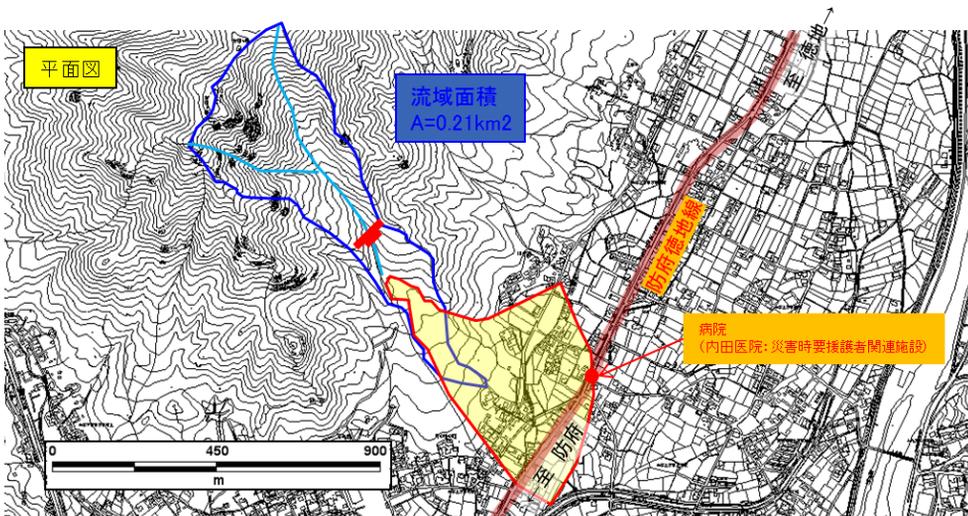
事業名 (箇所名)	右田ヶ岳中谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	防府市上右田																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・右田ヶ岳中谷川においては、平成21年7月中国・九州北部豪雨で土砂が一部流出するなど、溪流の浸食が著しく進行していることから、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:49戸 重要公共施設:1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	24	C:総費用(億円)	1.8	B/C	13.4	B-C	22	EIRR (%)	24.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.8</td> <td>~ 14.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.4</td> <td>~ 13.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.5</td> <td>~ 13.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.8	~ 14.1	残工期(+10%~-10%)	13.4	~ 13.4	資産(-10%~+10%)	12.5	~ 13.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	12.8	~ 14.1																				
残工期(+10%~-10%)	13.4	~ 13.4																				
資産(-10%~+10%)	12.5	~ 13.2																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家49戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

右田ヶ岳中谷川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」

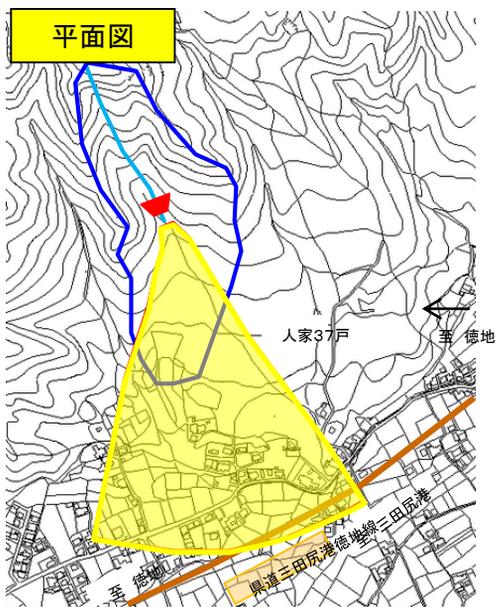


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	石原南谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	防府市真尾																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石原南谷川においては、平成21年7月中国・九州北部豪雨で土砂が一部流出するなど、溪流の浸食が著しく進行していることから、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家: 37戸 重要公共施設: 1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B: 総便益 (億円)	20	C: 総費用(億円)	1.6	B/C	12.4	B-C	18	EIRR (%)	36.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>11.5</td> <td>~ 13.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>12.4</td> <td>~ 12.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.6</td> <td>~ 12.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	11.5	~ 13.5	残工期(+10%~-10%)	12.4	~ 12.4	資産(-10%~+10%)	12.6	~ 12.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	11.5	~ 13.5																				
残工期(+10%~-10%)	12.4	~ 12.4																				
資産(-10%~+10%)	12.6	~ 12.2																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家37戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

石原南谷川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	東豊井川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	下松市東豊井				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度	
総事業費 (億円)	2.8				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 東豊井川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家: 75戸 重要公共施設: 2施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B: 総便益 (億円)	37	C: 総費用(億円)	2.7	B/C 13.7 B-C 34 EIRR (%) 85.0
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	12.7	~	15.1	
	残工期(+10%~-10%)	13.5	~	13.1	
	資産(-10%~+10%)	14.0	~	13.5	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家75戸、重要公共施設2施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

東豊井川事業間連携砂防等事業 位置図

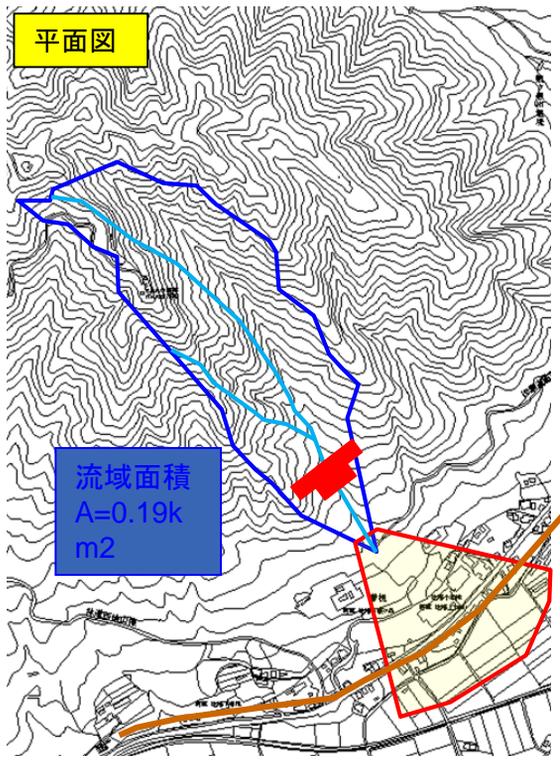
山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	曾根南川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	山口市阿東町地福下				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、溪流保全工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度	
総事業費 (億円)	1.5				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曾根南川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家:14戸 重要公共施設:2施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)	2.8	B/C 4.0 B-C 8.5 EIRR (%) 13.2
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	3.8	~	4.2	
	残工期(+10%~-10%)	4.0	~	4.0	
	資産(-10%~+10%)	4.1	~	3.9	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家14戸、重要公共施設2施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

曾根南川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	吉部野下中川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県				
実施箇所	山口市阿東嘉年下									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、溪流保全工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度						
総事業費 (億円)	4.7									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉部野下中川においては、平成25年7月28日豪雨災害で土砂が一部流出するなど、溪流の浸食が著しく進行していることから、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家:10戸 重要公共施設:1施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	8.5	C:総費用(億円)	5.2	B/C	1.6	B-C	3.4	EIRR (%)	6.9
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.5	~	1.8						
	残工期(+10%~-10%)	1.7	~	1.6						
	資産(-10%~+10%)	1.7	~	1.6						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家10戸、重要公共施設1施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

吉部野下中川事業間連携砂防等事業 位置図

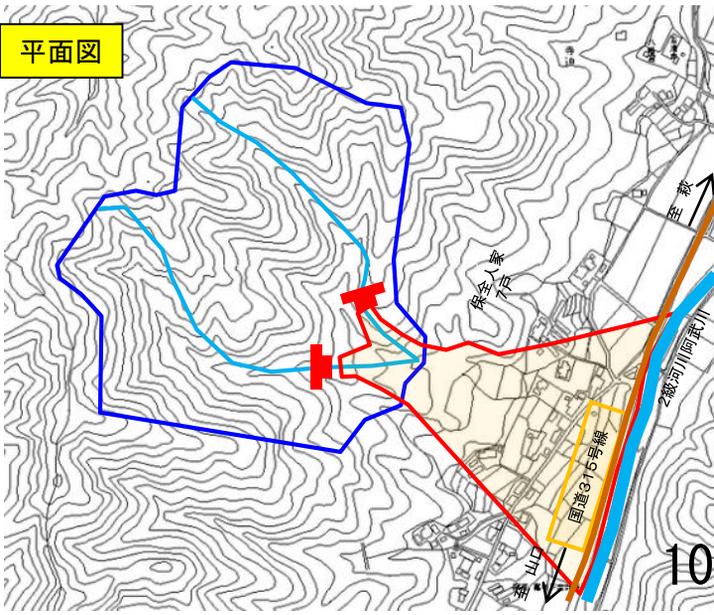
山口県位置図

吉部野下中川



「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」

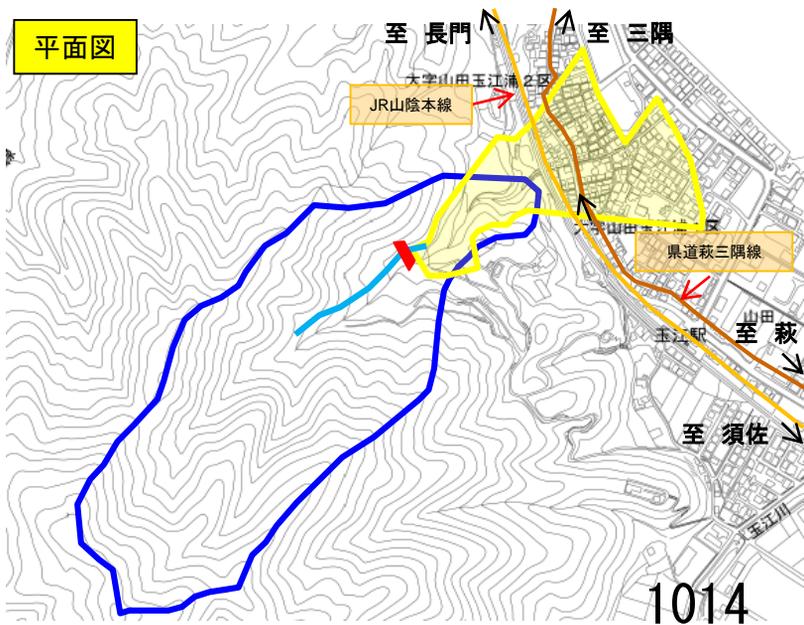
平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	玉江浦川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県					
実施箇所	萩市大字山田									
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度						
総事業費 (億円)	2.1									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉江浦川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家:233戸 重要公共施設:3施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	116	C:総費用(億円)	2.1	B/C	54.4	B-C	114	EIRR (%)	138.0
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	50.2	~	59.5						
	残工期(+10%~-10%)	54.2	~	52.5						
	資産(-10%~+10%)	55.2	~	53.7						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家233戸、重要公共施設3施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

玉江浦川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	蔵屋渓流事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	萩市明木																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度																		
総事業費 (億円)	3.0																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵屋渓流においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:13戸 重要公共施設:1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.6	C:総費用(億円)	2.5	B/C	2.7	B-C	4.2	EIRR (%)	13.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 3.0	残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.7	~ 2.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 3.0																				
残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6																				
資産(-10%~+10%)	2.7	~ 2.6																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家13戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

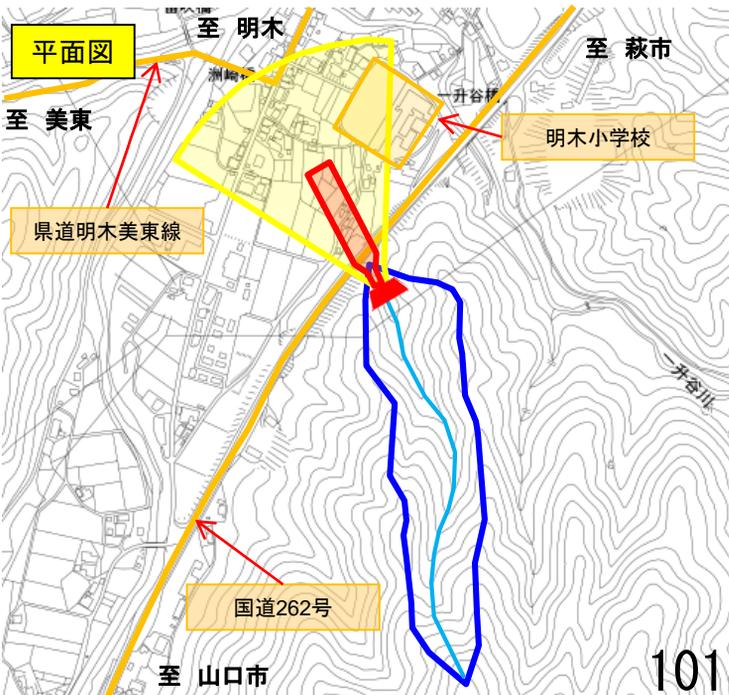
蔵屋溪流事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	牛地1川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	萩市明木				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度	
総事業費 (億円)	1.1				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 牛地1川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家:33戸 重要公共施設:4施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	37	C:総費用(億円)	1.3	B/C 29.1 B-C 36 EIRR (%) 170.0
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	26.7	~	31.5	
	残工期(+10%~-10%)	29.1	~	29.1	
	資産(-10%~+10%)	29.6	~	28.5	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家33戸、重要公共施設4施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

牛地1川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	徳神1事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	大島郡周防大島町東屋代																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 徳神1においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:26戸 重要公共施設:1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	1.5	B/C	9.0	B-C	12	EIRR (%)	29.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 9.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.0</td> <td>~ 9.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.1</td> <td>~ 8.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 9.7	残工期(+10%~-10%)	9.0	~ 9.0	資産(-10%~+10%)	9.1	~ 8.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 9.7																				
残工期(+10%~-10%)	9.0	~ 9.0																				
資産(-10%~+10%)	9.1	~ 8.9																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家26戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

徳神1事業間連携砂防等事業 位置図

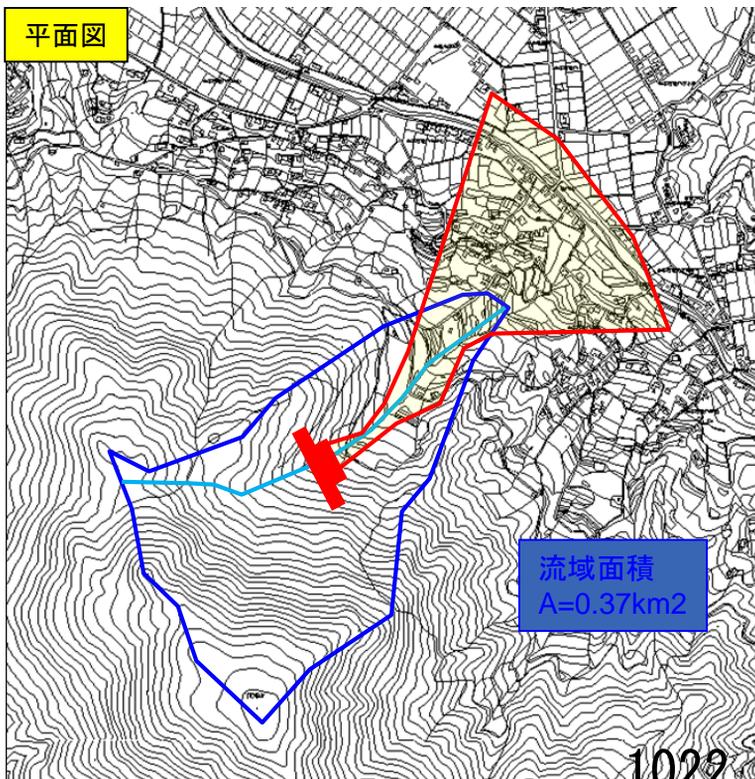
山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小方南川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	大島郡周防大島町西屋代				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、溪流保全工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度	
総事業費 (億円)	2.6				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小方南川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家: 43戸 重要公共施設: 1施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B: 総便益 (億円)	14	C: 総費用(億円)	2.7	B/C 5.0 B-C 11 EIRR (%) 18.5
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	4.6	~	5.5	
	残工期(+10%~-10%)	5.0	~	4.8	
	資産(-10%~+10%)	5.1	~	4.9	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家43戸、重要公共施設1施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

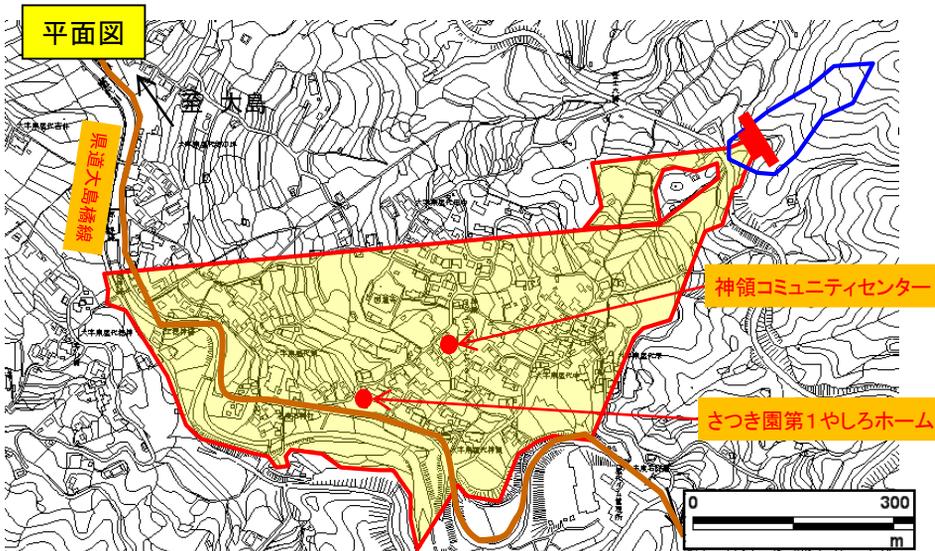
小方南川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	神領南川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	大島郡周防大島町東屋代																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.9																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・神領南川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:166戸 重要公共施設:2施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	48	C:総費用(億円)	2.0	B/C	24.5	B-C	46	EIRR (%)	45.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>22.6</td> <td>~ 26.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>24.8</td> <td>~ 23.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>24.9</td> <td>~ 24.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	22.6	~ 26.9	残工期(+10%~-10%)	24.8	~ 23.9	資産(-10%~+10%)	24.9	~ 24.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	22.6	~ 26.9																				
残工期(+10%~-10%)	24.8	~ 23.9																				
資産(-10%~+10%)	24.9	~ 24.2																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家166戸、重要公共施設2施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

神領南川事業間連携砂防等事業 位置図

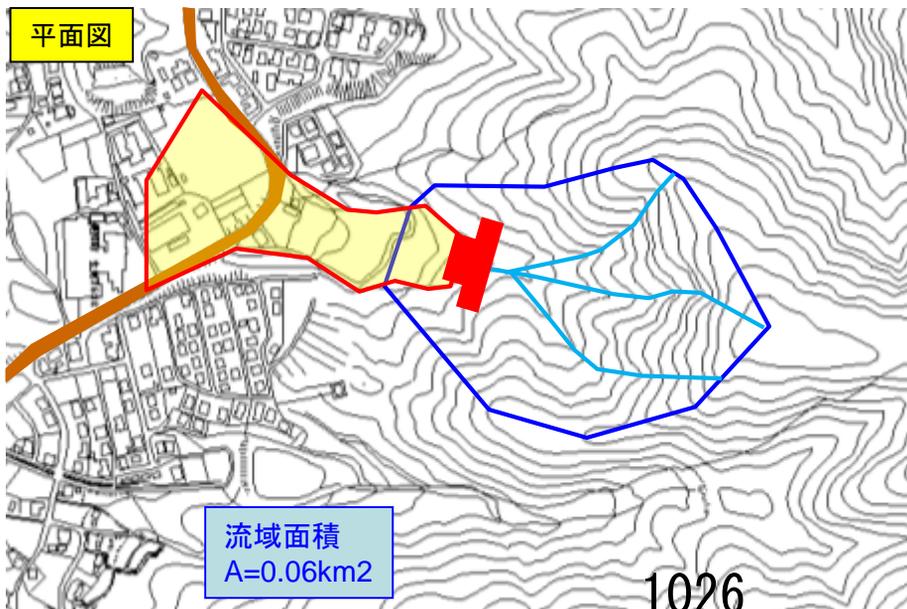


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	生見溪流事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	岩国市美和町生見				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度	
総事業費 (億円)	2.6				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生見溪流においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家:1戸 重要公共施設:1施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	6.3	C:総費用(億円)	3.5	B/C 1.8 B-C 2.8 EIRR (%) 7.3
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	1.7	~	1.9	
	残工期(+10%~-10%)	1.8	~	1.8	
	資産(-10%~+10%)	1.8	~	1.8	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家1戸、重要公共施設1施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

生見溪流事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	杭名川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																	
実施箇所	岩国市杭名																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	1.3																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 杭名川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																						
便益の主 な根拠	人家:24戸 重要公共施設:2施設 等																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	23	C:総費用(億円)	1.5	B/C	15.3	B-C	21	EIRR (%)	41.5													
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>14.2</td> <td>~ 16.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>15.5</td> <td>~ 15.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>15.6</td> <td>~ 15.0</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	14.2	~ 16.5	残工期(+10%~-10%)	15.5	~ 15.0	資産(-10%~+10%)	15.6	~ 15.0
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	14.2	~ 16.5																					
残工期(+10%~-10%)	15.5	~ 15.0																					
資産(-10%~+10%)	15.6	~ 15.0																					
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家24戸、重要公共施設2施設等)を守る。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

杭名川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大向川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県				
実施箇所	周南市大向二俣									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	1.5									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大向川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家: 14戸 重要公共施設: 3施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B: 総便益 (億円)	21	C: 総費用(億円)	2.8	B/C	7.6	B-C	18	EIRR (%)	18.0
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	7.2	~	8.0						
	残工期(+10%~-10%)	7.6	~	7.6						
	資産(-10%~+10%)	7.7	~	7.4						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家14戸、重要公共施設3施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

大向川事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」

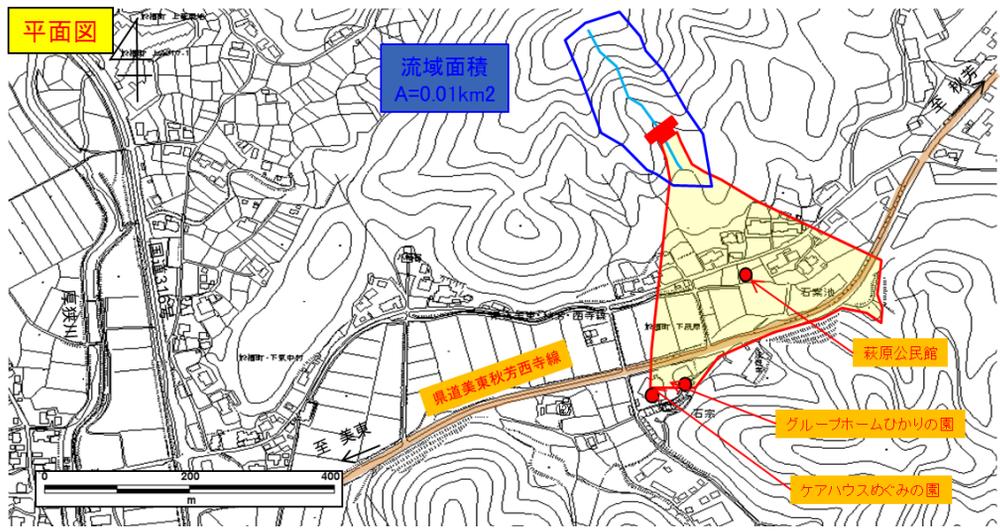


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	萩原北川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	美祿市於福町下																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.95																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩原北川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家: 11戸 重要公共施設: 1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.2	C:総費用(億円)	1.9	B/C	3.3	B-C	4.3	EIRR (%)	11.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.5	残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.3	資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.5																				
残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.3																				
資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.2																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家11戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

萩原北川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小杉北川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県				
実施箇所	美祢市於福町下									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度						
総事業費 (億円)	1.9									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小杉北川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家: 23戸 重要公共施設: 3施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B: 総便益 (億円)	11	C: 総費用(億円)	1.9	B/C	5.9	B-C	9.3	EIRR (%)	24.1
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	5.4	~	6.4						
	残工期(+10%~-10%)	5.8	~	5.6						
	資産(-10%~+10%)	6.0	~	5.8						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家23戸、重要公共施設3施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

小杉北川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図

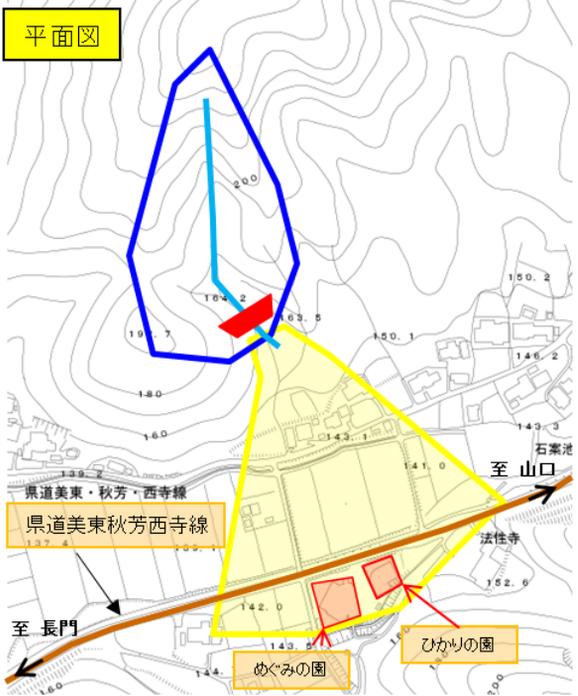


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	萩原北下川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	美祢市於福町下																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩原北下川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:5戸 重要公共施設:1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	1.6	B/C	9.0	B-C	13	EIRR (%)	36.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 9.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.2</td> <td>~ 8.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.3</td> <td>~ 8.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 9.9	残工期(+10%~-10%)	9.2	~ 8.8	資産(-10%~+10%)	9.3	~ 8.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 9.9																				
残工期(+10%~-10%)	9.2	~ 8.8																				
資産(-10%~+10%)	9.3	~ 8.8																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家5戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

萩原北下川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図

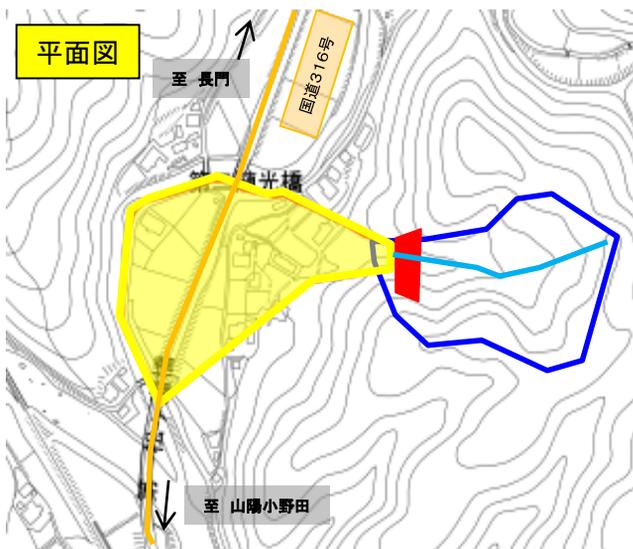


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	松ヶ瀬川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県				
実施箇所	山陽小野田市厚狭									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	1.5									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松ヶ瀬川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家: 4戸 重要公共施設: 2施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	4.9	C:総費用(億円)	1.8	B/C	2.8	B-C	3.2	EIRR (%)	11.9
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	2.6	~	3.1						
	残工期(+10%~-10%)	2.8	~	2.8						
	資産(-10%~+10%)	2.9	~	2.8						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家4戸、重要公共施設2施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

松ヶ瀬川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大町川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県						
実施箇所	山口市徳地上村											
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路											
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度								
総事業費 (億円)	1.8											
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 											
便益の主 な根拠	人家:31戸 重要公共施設:1施設 等											
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度										
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)	1.7	B/C	9.1	B-C	14	EIRR (%)	36.7		
感度分析	全体事業(B/C)											
	残事業費(+10%~-10%)	8.3	~	10.0								
	残工期(+10%~-10%)	9.0	~	8.7								
	資産(-10%~+10%)	9.2	~	8.9								
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家31戸、重要公共施設1施設等)を守る。											
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた											

大町川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	下中小野川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	長門市三隅中				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、溪流保全工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度	
総事業費 (億円)	3.4				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下中小野川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家: 24戸 重要公共施設: 1施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B: 総便益 (億円)	16	C: 総費用(億円)	4.3	B/C 3.7 B-C 11 EIRR (%) 12.0
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	3.4	~	3.9	
	残工期(+10%~-10%)	3.7	~	3.7	
	資産(-10%~+10%)	3.7	~	3.6	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家24戸、重要公共施設1施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

下中小野川事業間連携砂防等事業 位置図



「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」



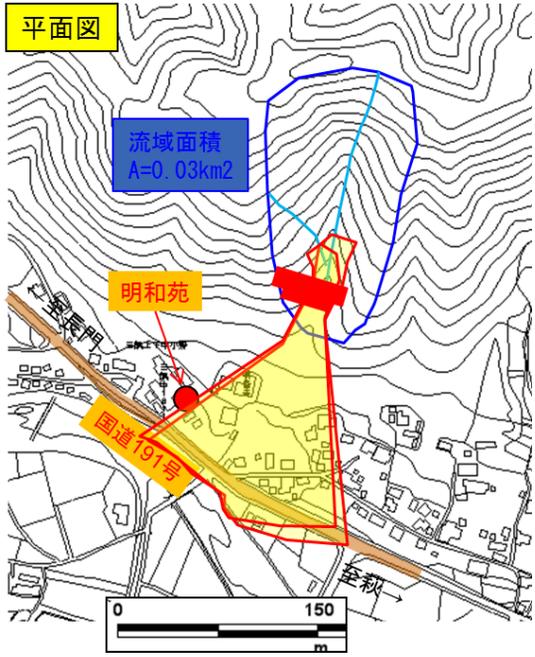
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	下中小野溪流事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	長門市三隅中				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度	
総事業費 (億円)	1.9				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下中小野溪流においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家:11戸 重要公共施設:1施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	3.8	C:総費用(億円)	2.0	B/C
				1.9	B-C
				1.8	EIRR (%)
					9.2
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	1.8	~	2.1	
	残工期(+10%~-10%)	1.9	~	1.8	
	資産(-10%~+10%)	2.0	~	1.9	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家11戸、重要公共施設1施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

下中小野溪流事業間連携砂防等事業 位置図



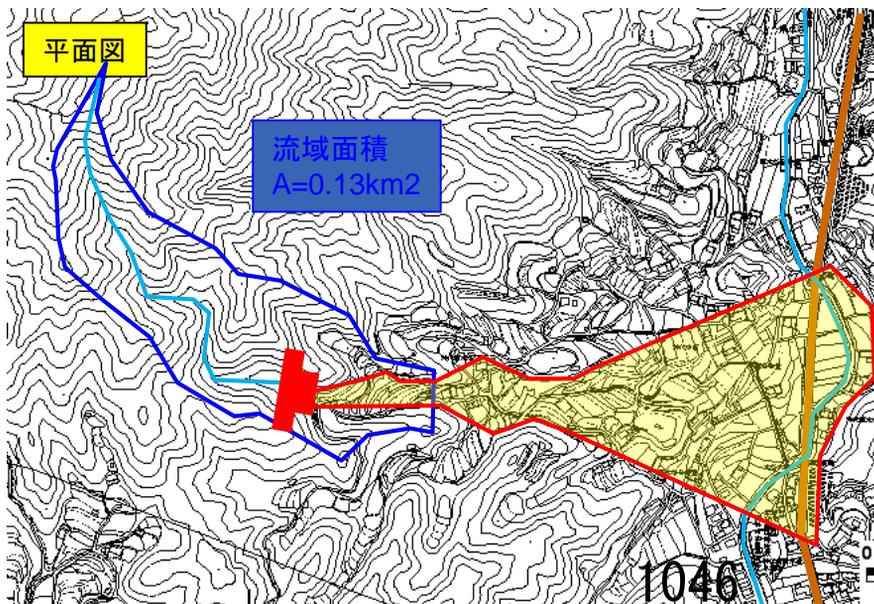
「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西本谷大川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県					
実施箇所	柳井市神代										
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度							
総事業費 (億円)	1.2										
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 西本谷大川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 										
便益の主 な根拠	人家: 45戸 重要公共施設: 1施設 等										
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度								
	B: 総便益 (億円)	26	C: 総費用(億円)		2.7	B/C	9.4	B-C	23	EIRR (%)	21.2
感度分析	全体事業(B/C)										
	残事業費(+10%~-10%)	9.0	~	9.8							
	残工期(+10%~-10%)	9.4	~	9.4							
	資産(-10%~+10%)	9.5	~	9.2							
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家45戸、重要公共施設1施設等)を守る。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた										

西本谷大川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

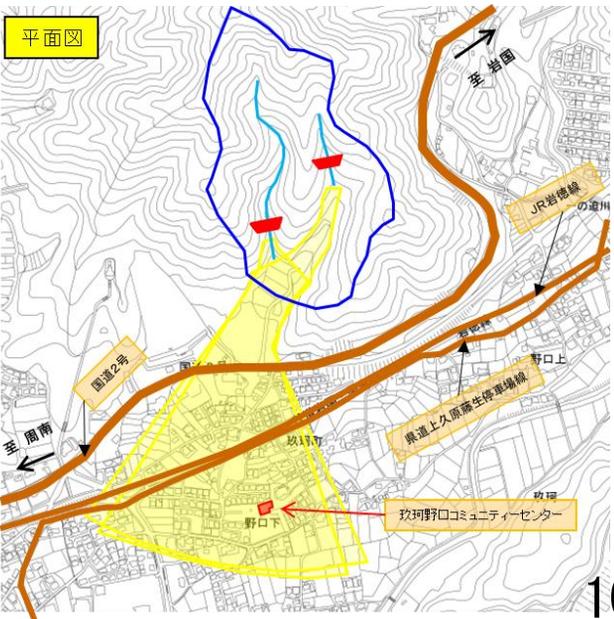
事業名 (箇所名)	平原川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	岩国市玖珂町				
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度	
総事業費 (億円)	1.2				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平原川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家:192戸 重要公共施設:5施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	100	C:総費用(億円)	1.4	B/C 70.5 B-C 99 EIRR (%) 98.0
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	65.5	~	76.5	
	残工期(+10%~-10%)	70.5	~	70.5	
	資産(-10%~+10%)	71.6	~	69.5	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家192戸、重要公共施設5施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

平原川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	須通東川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県				
実施箇所	岩国市周東町下須通									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度						
総事業費 (億円)	4.1									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・須通東川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家: 19戸 重要公共施設: 1施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	9.5	C:総費用(億円)	6.4	B/C	1.5	B-C	3.1	EIRR (%)	6.0
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.4	~	1.6						
	残工期(+10%~-10%)	1.5	~	1.5						
	資産(-10%~+10%)	1.5	~	1.5						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家19戸、重要公共施設1施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

須通東川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図

須通東川

事業場所

「この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」

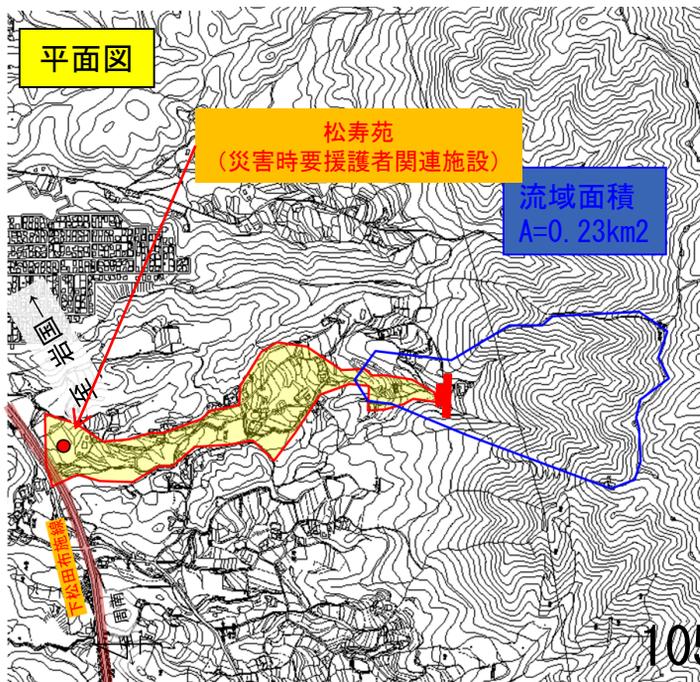
平面図

流域面積
0.10km²

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	奥迫川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県
実施箇所	下松市奥迫				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度	
総事業費 (億円)	3.5				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥迫川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 				
便益の主 な根拠	人家: 18戸 重要公共施設: 1施設 等				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度			
	B: 総便益 (億円)	14	C: 総費用(億円)	3.6	B/C 3.8 B-C 10 EIRR (%) 13.2
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	3.5	~	4.2	
	残工期(+10%~-10%)	3.8	~	3.7	
	資産(-10%~+10%)	3.9	~	3.8	
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家18戸、重要公共施設1施設等)を守る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

奥迫川事業間連携砂防等事業 位置図



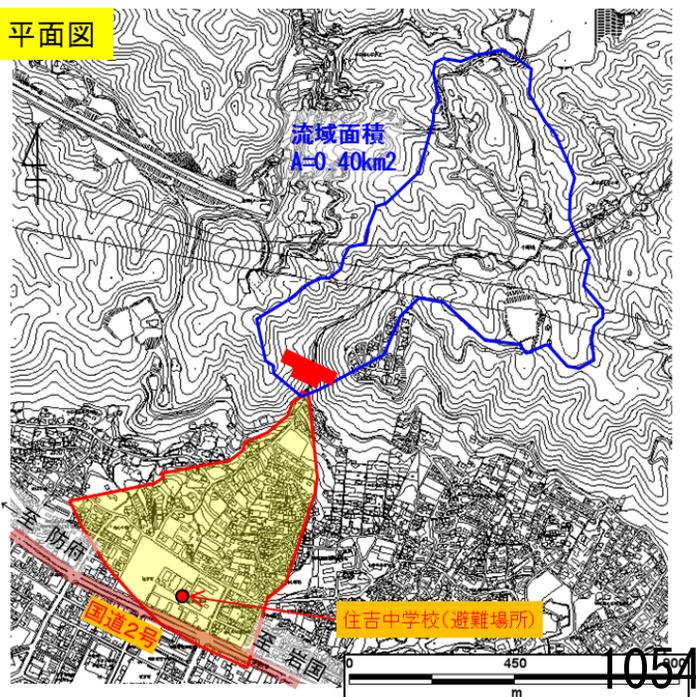
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	水上南側沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	周南市徳山																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.7																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 水上南側沢においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:492戸 重要公共施設:2施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	205	C:総費用(億円)	2.5	B/C	81.3	B-C	202	EIRR (%)	67.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>76.5</td> <td>~ 86.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>81.3</td> <td>~ 81.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>82.6</td> <td>~ 80.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	76.5	~ 86.5	残工期(+10%~-10%)	81.3	~ 81.3	資産(-10%~+10%)	82.6	~ 80.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	76.5	~ 86.5																				
残工期(+10%~-10%)	81.3	~ 81.3																				
資産(-10%~+10%)	82.6	~ 80.1																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家492戸、重要公共施設2施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

水上南側沢事業間連携砂防等事業 位置図



平面図



<新規事業採択時評価>

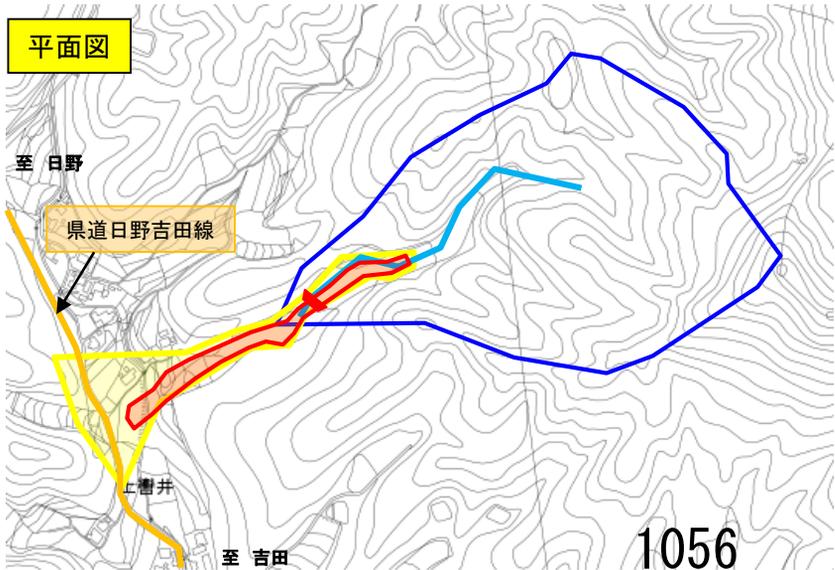
事業名 (箇所名)	轡井南川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	下関市菊川町大字轡井																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・轡井南川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	重要公共施設: 2施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	3.5	C:総費用(億円)	1.8	B/C	2.0	B-C	1.8	EIRR (%)	9.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.2	残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.0	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.2																				
残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.0																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.0																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(重要公共施設2施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

轡井南川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	谷井溪流事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県												
実施箇所	下関市菊川町下大野																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	2.5																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷井溪流においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や高速道路等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	人家:8戸 重要公共施設:2施設 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	5.4	C:総費用(億円)	2.5	B/C 2.2 B-C 2.9 EIRR (%) 10.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.4	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.1	資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.2
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.4															
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.1															
資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.2															
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家8戸、重要公共施設2施設等)を守る。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

谷井溪流事業間連携砂防等事業 位置図

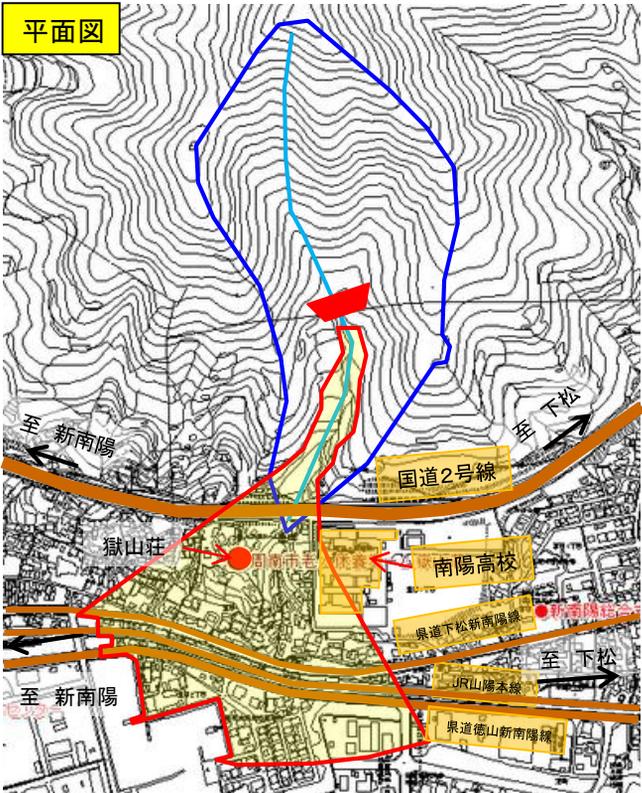
山口県位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	温田西川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	周南市温田																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・温田西川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家:178戸 重要公共施設:5施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	90	C:総費用(億円)	1.7	B/C	53.7	B-C	89	EIRR (%)	65.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>49.6</td> <td>~ 58.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>54.0</td> <td>~ 52.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>54.7</td> <td>~ 52.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	49.6	~ 58.6	残工期(+10%~-10%)	54.0	~ 52.2	資産(-10%~+10%)	54.7	~ 52.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	49.6	~ 58.6																				
残工期(+10%~-10%)	54.0	~ 52.2																				
資産(-10%~+10%)	54.7	~ 52.7																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家178戸、重要公共施設5施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

温田西川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	珠の浦川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県					
実施箇所	下関市長府珠の浦町									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度						
総事業費 (億円)	1.6									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・珠の浦川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や県道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	人家: 57戸 重要公共施設: 1施設 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B: 総便益 (億円)	29	C: 総費用(億円)	1.6	B/C	18.0	B-C	27	EIRR (%)	106.0
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	16.7	~	19.7						
	残工期(+10%~-10%)	18.2	~	17.7						
	資産(-10%~+10%)	18.3	~	17.8						
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家57戸、重要公共施設1施設等)を守る。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

珠の浦川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



<新規事業採択時評価>

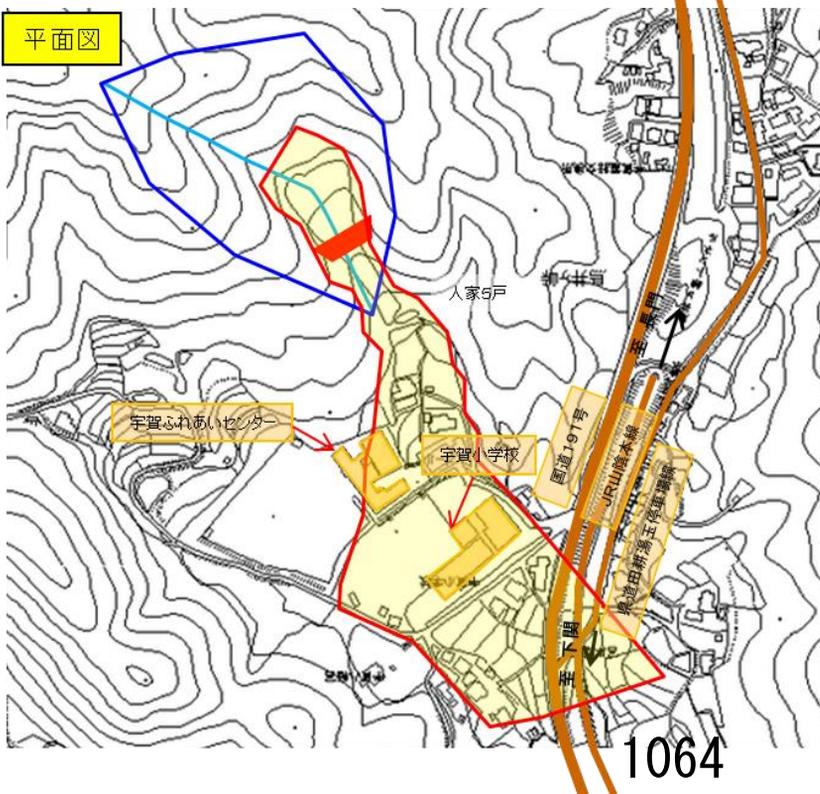
事業名 (箇所名)	宇賀本郷西川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県												
実施箇所	下関市豊浦町宇賀																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、前庭保護工、管理用道路																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.0																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇賀本郷西川においては、近年の豪雨等により溪流の浸食等が進行しており、溪流内には不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	人家:2戸 重要公共施設:5施設 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	17	C:総費用(億円)	2.0	B/C 8.3 B-C 15 EIRR (%) 23.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.0</td> <td>~ 8.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 8.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.5</td> <td>~ 8.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.0	~ 8.5	残工期(+10%~-10%)	8.3	~ 8.3	資産(-10%~+10%)	8.5	~ 8.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	8.0	~ 8.5															
残工期(+10%~-10%)	8.3	~ 8.3															
資産(-10%~+10%)	8.5	~ 8.1															
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家2戸、重要公共施設5施設等)を守る。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

宇賀本郷西川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	新造谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	山口県																
実施箇所	岩国市周東町西長野																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、堆積工、前庭保護工、管理用道路																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	2.0																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新造谷川においては、平成30年7月豪雨による土石流で、人家や国道2号等への被害が生じるなど、溪流の浸食が著しく進行しており、今後の降雨等による土砂災害の危険性が高まっている。 ・計画規模の降雨による土石流で、人家が被災した場合や国道等が寸断された場合、地域生活や経済に与える影響が大きいことから、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該溪流においては、今後の降雨等により、土石流及び流木の発生する恐れがあるため、対策施設の整備を行い、土石流等による下流の人家、重要公共施設等への被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	人家: 23戸 重要公共施設: 1施設 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B: 総便益 (億円)	15	C: 総費用(億円)	4.0	B/C	3.8	B-C	11	EIRR (%)	18.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.7</td> <td>~ 4.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 3.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.7	~ 4.0	残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8	資産(-10%~+10%)	3.9	~ 3.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.7	~ 4.0																				
残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8																				
資産(-10%~+10%)	3.9	~ 3.8																				
事業の効 果等	計画規模の豪雨による土石流被害について、砂防事業の実施により、下流への流出土砂量を低減し、土砂災害によって失われる恐れのある生命や財産(人家23戸、重要公共施設1施設等)を守る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

新造谷川事業間連携砂防等事業 位置図

山口県位置図



平面図

